

令和5年度 学校評価(定時制課程)

評議員名	中 村 泰 三 氏 二ツ谷 健 宏 氏	中 村 ひでの 氏 塗 政 江 氏	戸 高 由紀子 氏
------	------------------------	----------------------	-----------

自己評価（4:十分 3:おおむね良い 2:やや不十分 1:不十分）						学校関係者評価			
分野・領域	評価項目	達成度				今年度の実施内容と反省	自己評価に対する意見		
		4	3	2	1				
学習指導	わかる授業の実践と学力向上	0	10	0	0	・ 生徒個々に合わせた到達目標の設定と適切な評価ができたが、主体的に学習に望む姿勢を身に付け、習慣化される指導法の研修が必要である。	・ 技能の習得はもとより社会人として恥ずかしくない基礎学力や教養の習得を期待する。		
	3.0								
学習指導	家庭学習の習慣化	0	4	6	0	・ 生徒が主体的で計画的な学習活動を身につけるよう指導していく必要があり、教員の資質向上のための研修に積極的に参加する必要がある。	・ 家庭学習の習慣化を目指すならば、はじめの一步は簡単な課題を出し提出させてはどうか。		
	2.4								
生徒指導	望ましい人間関係の育成	1	9	0	0	・ 人権や生命を尊重する態度及び規範意識・倫理観を身につけさせる方策と学ぶ機会が必要。 ・ 生徒理解を図り教職員の共通認識による指導の更なる向上が必要。研修の実施も不可欠である。 ・ 家庭との情報共有に努め、信頼関係を構築した。	・ 生徒を取り巻く環境が刻々と変化している現状を踏まえ、家庭や地域関係機関との連携を推進することを期待する。 ・ いじめによって命を落とす生徒もいることから、今後もいじめの早期発見、適切な対応を期待する。 ・ ことある毎に、家庭や保護者との連携をとってほしい。		
	生徒との信頼関係の確立	2	8	0	0			3.2	
		保護者等との適切な連携	0	9	1				
		2.9							
進路指導	キャリア教育の充実	0	8	2	0	・ 進路学習やインターンシップを通じて、勤労観・職業観を育成できた。 ・ 自己の特性を理解し、明確な進路意識の向上を図ることができた。 ・ 保護者との面談を通じて進路決定までの手続きの提供と確認ができた。	・ 「企業が求める人財」に意識した授業を増やし、人前で話す力や自分を表現できる生徒を育てて欲しい。 ・ 生徒が、地域貢献できるよう、高校生活では、キャリア教育をお願いしたい。 ・ 就職、進学については、生徒の進路実現をサポートする体制の整備をお願いしたい。		
	多様な体験活動の実施と進路意識の明確化	0	9	1	0			2.9	
		保護者等との適切な連携	0	8	2				
		2.8							
健康安全指導	教育相談体制の充実	3	7	0	0	・ いじめやネットトラブルの未然防止に努めることができた。 ・ 健康指導や健康相談を通じて、健康・安全意識の向上と自己管理能力を育成することができた。 ・ 交通安全指導等を通じ、交通事故等の予防指導ができた。	・ 様々な悩みを抱える生徒に対応できるよう、スクールカウンセラーを有効に活用するなど、教育相談の体制強化に係わる研修にも教職員が参加するよう努めてほしい。 ・ 家庭や保護者との連携を深めながら、自らが食生活を始めとする体調管理ができるよう指導してほしい。		
	自己管理能力の育成	1	7	2	0			2.9	
		安全教育の充実	2	8	0				
		3.2							

自己評価（4:十分 3:おおむね良い 2:やや不十分 1:不十分）						学校関係者評価	
分野・領域	評価項目	達成度				今年度の実施内容と反省	自己評価に対する意見
		4	3	2	1		
信頼される学校づくり	特色ある教育活動の推進	2	8	0	0	・ 地域社会や関係諸機関との連携を図り、幅広い教育活動ができた。	・ 地域社会と連携した取り組みを更に充実させ実施してほしい。 ・ 学校のホームページによる学校情報の発信は、毎日更新され良かった。 ・ 保護者や地域の意見を教育活動に反映させてほしい。 ・ 信頼される学校づくりのために、服務規律の厳守を継続して欲しい。
	3.2						
	地域人材や教育力の活用	3	7	0	0	・ 地域の教育力や資源を活かし、講話・講演等の教育実践ができた。	
	3.3						
	教育力の地域還元	0	9	1	0	・ 函館教育大学や日本語学校との連携による教育活動の推進ができた。	
	2.9						
	情報発信の充実	1	4	5	0	・ Webページを最大限に活用・随時更新し、学校情報の発信に努めた。	
2.6							
学校評価の充実	1	6	3	0	・ 教職員・生徒・保護者による評価を行い、工夫・改善に努めた。		
2.8							
適切な教育課程の管理	0	10	0	0	・ 授業時数の確保ができた		
3.0							
服務規律の厳守	8	2	0	0	・ 公私に渡り、教育公務員としての自覚ある行動ができた。		
3.8							
組織運営	教職員の連携強化	3	5	2	0	・ 学校課題の共有化を図り、課題解決に向け、更なる連携と行動が必要。	・ 学校課題に対して、教職員が一丸となって解決に向け取り組んでほしい。
	3.1						
危機管理体制の確立	2	6	2	0	・ 各担当管理教室を適切に点検・整備することができた。		
3.0							
教職員の資質向上	研修活動の充実	1	7	2	0	・ 学校課題や教育課題等、タイムリーで効果的な校内研修ができた。	・ 日々変わる社会情勢の中であるからこそ、教える側は各種研修に参加をして情報共有し、アップデートを図ってほしい。
	2.9						
研修成果の共有化	2	5	3	0	・ 各種研修成果の共有により、更なる教職員全体の資質向上が必要。		
2.9							
その他	働き方改革	8	2	0	0	・ 勤務時間内に業務を終えることができた。	・ 生徒への教育の質をおとすことなく、労働環境の改善を図ってほしい。
3.8							